

国産生成A I の共同検証の結果について

日本電気株式会社（以下「NEC」という。）と令和5年10月に協定を締結し、同社が開発した生成A I を用いた共同検証に取り組んできた結果を報告します。

1 検証結果について

（1）取組事項

共同検証の中で、議会答弁原案作成への活用を主なテーマとして検証環境を構築、過去の答弁データを学習させ、回答精度を向上させました。

また、令和6年3月と6月の市議会定例会議の答弁の原案作成において使用し、評価を行いました。

（2）評価

過去の答弁データの学習を行うことにより、答弁らしい回答が得やすくなるほか、回答書式の追加学習により、さらに回答精度が向上したとの評価が得られました。

一方で、生成A I への質問要旨の入力方法に工夫が必要であるほか、回答を基に繰り返し再質問できる機能を希望するなどの意見がありました。

（3）検証の結果

NECからは、今回の共同検証によって、行政データを使った生成A I の実用化が可能であること、行政の専門領域や、これらを実現するための知見やノウハウの蓄積ができ、初期の目標が十分達成できたとの報告を受けたことから、予定どおり6月末をもって共同検証を終了することとしました。

2 今後の進め方

今後は、改めてNECと連携し、操作性や機能改善等に取り組めます。

また、職員が生成A I を効果的に活用できるよう、職員のスキルアップを図るとともに、海外製の生成A I による画像や音声への対応など、生成A I の新たな活用方策の検討等に向け、庁内でプロジェクトチームを設置します。

問合せ先

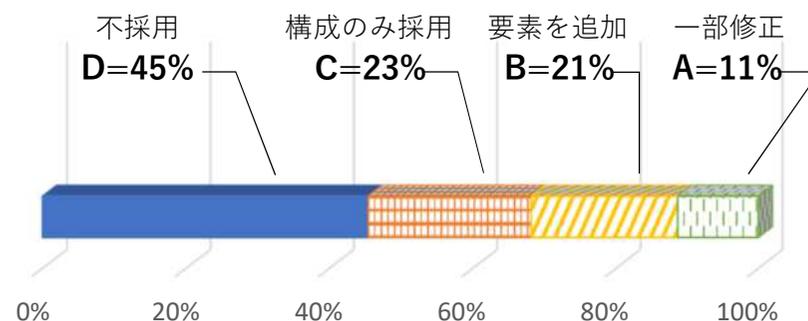
D X 推進課 佐伯

直通電話 042-769-8212

国産生成AIの共同検証の結果について

令和6年6月定例会議における使用アンケート結果

- 要因**
- ・ 質問入力に工夫が必要 = 利用者のスキル不足
 - ・ 学習データ（過去答弁）に無い文言は引き出せない
 - ・ 生成結果に対する再質問入力ができない



NECと連携し 機能強化の検討

- ・ 使いやすい仕組みの構築
- ・ 回答精度のさらなる向上

プロジェクトチームの設置

- ・ 生成AIの新たな活用方策の検討
- ・ 職員の入力スキル向上や意識醸成を図る方策の検討
- ・ 本市のDXを加速するための方策の検討

海外製の生成AIの併用

- ・ 画像や音声における活用法の研究
- ・ 海外製生成AI（ChatGPT等）とNEC製の生成AIを、ハイブリッドで技術革新に追従するように、双方利用を進める